

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2012

12月号

Vol.187

毎月1日発行

杜の伝言板

ゆるる

ON AIR



宮城の皆様に
師走の到来を
お知らせ致します

掲載団体

NPO法人ピースジャム

NPO法人障碍児と共に歩む会

FMあおぞら

NPO法人せんだい杜の子ども劇場

NPO法人なんでもエンジョイ面瀬クラブ

日本女性会議2012仙台実行委員会

【トピックス】

みやぎNPOプラザNPOフォーラム2012

～知ろう、学ぼう、始めよう～

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・
NPO活動サポート募金」助成事業



赤ちゃんを育てるママのジャム

● NPO法人ピースジャム

今年五月に法人化したNPO法人ピースジャムは母子への物資支援・母親の就労支援・子育て支援を中心に活動する団体。気仙沼でブルース・バーを営む佐藤賢さんが中心となって設立されました。

●●● ミルクを求める母親の声 ●●●

昨年三月十一日、佐藤さんは家族で昼ご飯を迎えようとしていた時に震災に遭いました。すぐさま車で向かった県立自然公園『市民の森』からは普段見ることができない白波が見えたといいます。津波が引いたのち山を下りると、そこには浸水した自宅アパートを含め、一面水没し変わり果てた街の姿がありました。

翌日、当時七か月だった長女のミルクを求めて薬局へ行くと、そこには女性たちの長蛇の列。この時佐藤さんはある母親の訴えを聞きます。「私にミルクを譲ってください。母乳が出ないんです」

それまで自身無我夢中だった佐藤さんはふと考えました。たった数か

月前に祝福されて生まれてきたはずの多くの赤ちゃんがこのままでは餓死してしまう……。

いてもたってもいられなくなった佐藤さんは母親の連絡先を控えると、わずかなガソリンを頼りに最終的には大崎までミルクを求めて奔走しました。

この出来事をきっかけに母親たちへの継続的な支援の必要性を感じた佐藤さんは、任意団体としてピースジャムをスタート。避難所を回る



▲ジャム作りに励む母親たち

だけではなく、自宅へ戻った母親も支援の網から漏らさないよう、全軒ノックも実施し母親たちの連絡先とニーズを聞きだしました。一方では支援物資を全国から集めるためのHPサイトを立ち上げ、気仙沼の母親たちの窮状を訴えました。

●●● 母親たちに仕事の間を ●●●

他の被災地同様、被災とともに失業し失業保険など以外に収入源を持たない家庭が多くありました。

「いつまでも支援に頼ってはいられない。切り詰めた家計から育児費用を捻出していたのでは子育て自体が楽しくなくなる」

昨年六月、ピースジャムは母親たちの雇用環境改善に動き始めます。

こうして始まったのが、母親たちのジャム作りです。このジャムは薬膳料理研究家の先生の指導を受けた玉ねぎ・トマト・にんじんの三種のベジタブルジャム。母親たちは何度も先生に指摘されながらレシピを完成させました。

母親たちが作ったジャムはHPを通じて全国へ販売されています。資金の大半を助成金で賄っていたピースジャムでしたが、現在ではジャム収入が十五%以上を占め、母親たちの収入を確保することもできました。

今はジャム作りに加え、ミニ巾着などの手づくり小物を製造・販売す

る「ピースジャム・メゾン」部門も合わせて、九人の母親たちが参加しています。母親たちは自ら製品のアイデア出しをしたり、イベント開催時にはボランティアとして手伝ったりと、すでにただ支援を待つ立場からは脱却しています。

●●● 明るい気仙沼の未来のために ●●●

今、ピースジャムでは公園と工房が一体となった地域のコミュニティ広場の建設を考えています。そこにはジャム作りなどの工房、キッズルーム、カフェが入る構想。公園部分にはジャム作りで関わりのある地域農家の野菜直売所を設ける予定です。

子どもたちが公園で遊んでいるあいだ、親たちはカフェで情報交換をし、ついでに夕食の材料を買って家路に着く。ここには佐藤さんが考える、親と子、そして地域の結びつきの理想像が表れています。

「今の子どもたちが大人になったときに魅力的だと感じるような、そんな街にしたい」

このような未来を目指して、ピースジャムは母親たちを支援し続けていきます。

NPO法人ピースジャム

〒988-0053 気仙沼市田中前2-3-21-202

●TEL : 0226-29-6583

●URL : <http://peace-jam.jp>

地域で生きる、 学ぶ

●NPO法人障碍児と共に歩む会

もともと石巻市には、これまでダウン症、自閉症、てんかん等の親の会がありました。しかし、個々に活動するよりもつながりを持って情報を交換し合いたい、地域で子どもたちを育てていきたい、という思いから「障碍児と共に歩む会」が一九九八年に結成され、二〇〇三年にはNPO法人化しました。

●活動拠点を失って

従来、障碍児と共に歩む会は「つながりの家」という建物を活動の拠点にしていました。これは石巻市の旧市長公舎を市から無償で借りたものです。

この「つながりの家」で、障がい児を持つスタッフ六人が毎週月曜・木曜に、同じような悩みを抱える親の話を聞いたり、障がい児の就学・就労支援をしたりといった活動を行ってきました。

しかし、昨年の三月に東日本大震災が発生。その日はつながりの家の利用日ではなかったことから、電話

がつながらない中、スタッフ同士も連絡が取れず、人づてに安否確認をするという状況が続きました。幸い、人的被害はありませんでした。ただ活動拠点の「つながりの家」は、倒壊の可能性があり利用困難のため、石巻市から取り壊すという残念な通知がありました。

「スタッフの住まいは沿岸が多く、家を流された人も多くいます。私もその一人です。団体としての活動より、自分たちが生きることと精一杯でした」と、副代表の小林厚子さん。

活動拠点も失い、これから活動を継続していくのかも、わからない中、会のなかでは『解散』も考えていました。六月に入り、スタッフ六人で「つながりの家」を利用して家族に電話をかけ、震災後初の定例会を開催しました。十三人の障がいを持った子どもたちとその母親が集まりましたが、利用者も自宅は全、半壊がほとんど。

久しぶりに集まった人々は堰を切るように、避難先での出来事を話し出しました。ある家族は、同じ避難

所にいた地域の方が障がいのある子どもを気遣ってくれ、母親の代わりに弁当をもらいに行ってくれたことで、なんとか二か月間の避難所生活を乗り切れたという話もあれば、子どもが人の多い場所に慣れないため避難所に入らず、傾いた家に帰った家族の話もありました。

その会で「話せる仲間がいて、よかった」という声を聞き、拠点がなくとも、できることを私達らしくやっていこう、とスタッフ一同再開の一步を踏み出す決意を固めました。

●地域で、社会で生きること

同じく昨年六月からは、もともとつながりのあった県外の団体から支援物資が届くようになり、二か月に一度のペースで利用していた方への物資配布を開始しました。

その他、クリスマス会やハッピーニューイヤークンサートを実施し、地元の人たちがつながる「場」の企画をしてきました。そして、現在は石巻市保健相談センターを会場としてダンス教室や余暇活動を継続して行っています。

そして、二〇〇八年から続けているスペシャルオリンピックス宮城石巻プログラムを再開。もともとスペシャルオリンピックス日本・宮城主催のプログラムに仙台まで通って参加していましたが、自分たちが主体



▲11月11日に開催されたボーリング交流会での一幕

震災を機に再確認したことは、「地域とともに生き、学んでいくこと」。地域とつながっていることは、大きな力になるということです。障がいを持っていても、地域で、社会でありまえに暮らしていけるよう、今後も活動拠点となる場所を探しながら、活動を続けていきます。

〔注〕障碍：「障」という字は「さまたげ」を意味し、「他を害する」という意味ではない。社会の障がいに対する壁を取り除きたいという思いから、「障」という字を用いている。

NPO法人障碍児と共に歩む会

●TEL：090-1932-7080
(副理事長 小林)

大切な人を

思い出させてくれるラジオ

● 亘理町臨時災害放送局 FMあおぞら

「ただいまこのたびの震災でお亡くなりになられた方々と届け出のありました方々のお名前を一人お一人読み上げております」

震災で亡くなった方々の名前を読み上げるという特別番組を放送したのは亘理町臨時災害放送局のFMあおぞら。昨年の四月以降、毎月、震災の月命日にこの「お名前読み上げ」番組を放送しています。

●●● 情報不足に陥った被災地で ●●●

震災直後の亘理町は電気水道などのライフラインも満足に通っていない状況で、食料品やガソリンといった生活必需品をどこで得たらよいかという情報が欠乏していました。

そこで、避難先の山元町で先立つて開局した山元町臨時災害FMりんごラジオの様子を見た代表の吉田圭さんが、亘理町にも緊急時の情報発信が必要だと町へ訴え、三月二十四日に副代表の西垣裕子さんを始めとする亘理在住の主婦たちとともにFMあおぞらを立ち上げました。



▲放送前の準備を行う代表兼チーフの吉田圭さん。

当初のFMあおぞらのメンバー約十五人はラジオを放送することに關してはまったくの素人。また、開局当時は町役場敷地内のプレハブの片隅がスタジオで、機材こそ新潟のコミュニティFM、FMながおかからの支援で最低限の物が揃いましたが、先行き不安なスタートでした。

「当初は聞いている人にとって拙い放送だったかもしれませんが、それでも、新しく正しい情報をリアルタイム

ムに発信できたことは大きかったと思います」と西垣さんは言います。

町役場から提供される各避難所の避難者数、給水情報、自衛隊による風呂提供の情報のほか、スーパーの限定開店時間などの情報を自らの足で調べて逐一放送しました。

とくに力を発揮したのは余震などの災害情報です。町に八十五基あった防災無線のうち十九基が津波で倒れ、ほかに災害情報を得る手段のなかった人々にとっては唯一の情報源となりました。

●●● 数よりもっと大切なもの ●●●

冒頭の「お名前読み上げ」番組が始まったのは昨年四月一日。

東日本大震災に関する報道は、死者・行方不明者の数でその凄惨さが語られるようになっていました。

亘理町の死者数は三〇六名（行方不明者数は〇名。どちらも二〇一二年十一月二十一日現在）。数だけで見れば、三陸沿岸の被災地ほどではありません。しかし、死者の数と亡くなった死者一人一人の命の尊さには何の関連性もないはず。FMあおぞらが大切にしたのは「数で表せないもの」。「名前」でした。

「お名前を読み上げる際は、実際の知り合いに接するよう、一人一人に呼びかける気持ちで読み上げています」と西垣さん。

●●● 広場のように機能する放送を ●●●

現在は亘理町の「悠里館」にスタジオを移し、スタッフ十二人体制で運営しているFMあおぞら。

これからのFMあおぞらについて、吉田さんは次のように話します。「これまでの体当たりの放送経験を通じて地域放送の使命をはっきりと自覚しました。それは、町の情報をきめ細やかに伝え、町民も自ら発信できるいわば町の中の広場のよう機能する放送です。FMあおぞらは、今後はそのような放送を通じて町のコミュニティを結び直し活性化できるように働きかけていくことを目指しています」

そこではまずコミュニティFMの免許取得に必要な法人格を得るため、目下NPO法人化を目指している最中です。

FMあおぞらの活動が震災後だけの一時的な活動ではない、それを示すかのうちに、「お名前読み上げ」番組は次のように締めくくられます。「私たちはあなたたちの名前を、笑顔を決して忘れない。そしてその笑顔に胸に、前へ歩いていきます」

亘理町臨時災害放送局FMあおぞら

〒989-2351 亘理郡亘理町字西郷14

悠里館2階

●TEL : 0223-32-2293

●E-mail : aozora792@gmail.com

被災地の子育てを みんなで支えよう！

●NPO法人せんだい杜の子ども劇場

せんだい杜の子ども劇場（以下、せんだい杜）は、「子どもに夢を、たくましく豊かな創造性を」を合言葉に子どもたちのための舞台鑑賞や自然体験、親や家族も含めた子育て支援、仙台市榴岡児童館と新田児童館の指定管理を行っています。

震災直後は、乳幼児親子や妊婦さん等に榴岡児童館を避難所として開放。被災後の六月には、震災以降委縮し思いきり遊べない子どもたちの現状をなんとかしたいと、三月に開催できなかったイベントを開催しました。その時、久々に多くの親子の笑顔を見た館長&代表理事の齋藤純子さんは、「親が元気になることで子どもも元気になるような支援、多くの子どもたちが交流できる遊び場提供、それに見て感じて心を開放できる舞台鑑賞というアートの力を被災地に届けよう！」とせんだい杜としての被災地支援の方針を誓いました。

●みんなでつながる杜の子まつり●

その思いを実現するため、二〇一

年度から実施しているのが「支援の輪をつなぐ子育て応援まつり事業ーみんなつながれ！杜の子まつり」です。

せんだい杜の呼びかけで集まった県内NPO、仙台中央市民センター、そして全国の子ども劇場のネットワークから組織した推進委員会が企画運営を行っています。

昨年度は、仙台市で本まつりを行ったほか、本まつりに向けてのプレイイベントを仙台市東中田地区、東松島市、石巻市の被災地三か所で開催し、多くの家族と子ども達に笑顔をお届けしました。

「震災以降、厳しい暮らしを送っている女性から、久々に親子で心の底から笑ったと言われ、アートを通じたこのプログラムの力を確信し、事業の継続を決心しました」と齋藤さんはいいます。

二年目となる今年は、さらに地域のニーズに合わせた支援ができるよう各地域の団体とのつながりを強化しています。現地内容検討会をもち、昨年と同じく被災地三か所でのプレイイベント、仙台市での本まつりと一

年間の取り組みを紹介するシンポジウムを開催することにしました。本まつりには、神戸から中高生が来仙し、仙台と石巻のジュニアリーダー（以下、ジュニア）と一緒に活動する予定です。

●つないで広がるプレイイベント●

今年八月六日、東松島市小野駅前仮設住宅でプレイイベントを開催。メインのステージには五十名を超える参加があり、子どもたちは菅原動物病院提供のパンダのはく製展示やミニ縁日も楽しみました。

十一月四日には石巻市のプレイイベントとして大街道小学校体育館を会場にマジックショーを開催。キッズデザイン協議会の協力による「キッズワークショップブカーニバルin石巻」も併催され、iPadを使ってのお絵かきや感覚アスレチックなどNPOや企業がワークショップを出展し、子どもたちは思い思いにプログラムを満喫していました。

また、昨年に引き続き仙台と石巻地区のジュニアの研修と交流も実施。避難所での子ども支援に奮闘した石巻ジュニアの活動に共感し、手伝いを申し出た仙台が今年は十九名参加。共にステージ発表やワークショップのサポートを行いました。

来年の一月十九日には、仙台市東中田の東四郎丸児童館で三つ目のプ



▲iPadに夢中の子どもたちを見守るスタッフ

レイイベントを開催します。東中田地区では昨年の杜の子まつりを通じて三つの児童館が初めて一緒に事業を実施。今回はその輪が広がり、十団体を超える地域の団体が協力して、障がいを持つ子どもたちとその兄弟や家族も一緒に参加し、地域内のバリアフリーを目指します。

被災地の親子を応援する「杜の子まつり」。今後も東中田地区のプレイイベント、本まつり、シンポジウムと、まつりはまだまだ発展中。本まつりで体験ブースを出展する団体、ボランティアも募集中です！

NPO法人せんだい杜の子ども劇場

〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
●TEL/FAX : 022-375-3548
●E-mail : morinokodomo@s8.dion.ne.jp
●URL : <http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/>

スポーツを通じて元気な面瀬！

●なんでもエンジョイ面瀬クラブ

今年の一二月三日、気仙沼市の面瀬中学校の体育館で、紙飛行機ギネス記録保持者の指導のもと紙飛行機づくりを楽しむ人々の姿が見られました。この紙飛行機イベントを開催したのは、NPO法人なんでもエンジョイ面瀬クラブ。

子どもや高齢者にもスポーツを

NPO法人なんでもエンジョイ面瀬クラブ（以下、NEO）は気仙沼市面瀬地区で活動する総合型地域スポーツクラブです。

NEOは二〇〇三年に面瀬地区の体育振興会を中心に設立。以後、スポーツを中心に面瀬地区の地域づくりに取り組んでいます。「体育振興会の活動は社会人の体育事業、公民館事業の推進が中心でしたが、当時それまでの活動にマンネリも生じていました。そこで子どもや高齢者も巻き込めるウォークラリーやニュースポーツを実施してみたところ、評判がよかったので総合型クラブのNEOを作りました」と、もともと体

育振興会に属し、現在NEOの理事長を務める小池良光さんは言います。

ニュースポーツを中心に活動する総合型地域スポーツクラブは珍しくありません。一つNEOの特徴を挙げるとすれば、地域の部活動やスポーツ少年団活動の指導も行っているところにあります。

「部活動では学校の先生が顧問となり指導するのが一般的。ただ、必ずしも指導をできる先生がいるとは限らないし、学校の先生はいずれ転動してしまいます。NEOが部活動に関わることでそういう面を補完できていると思います」と小池さん。

活動拠点が避難所に

小池さんは、昨年三月、用事で訪れた石巻からの帰りに大震災に遭いました。津波の影響で三陸道が通れず、岩手経由の山越えルートで何とか帰宅しました。高台にあった自宅は無事でしたが、親戚や兄弟の家が津波の被害に遭っていました。

面瀬地区でも甚大な被害があり、死者・行方不明者合わせ、六〇名以上の犠牲者が出ました。

NEOもクラブの活動が行える状態ではなく、NEOではスタッフ十七名全員の無事を確認するのが精いっぱいでした。また、活動拠点である小学校・中学校が避難所となったため、ようやく活動が再開できたのは体育館が避難所の役目を終えた昨年の十月頃のことでした。

そこで、震災の影響で会費を集めることが難しかったこともあり、昨年はスポーツイベントなど大掛かりな活動は自粛し、部活動の指導中心の活動を続けることにしました。

現在に至っても、震災前に比べる地区住民のイベント参加は活発ではありません。特に仮設住宅へ移った住民は、イベント以外でもなかなか

か外出しない状況が続いています。

面瀬が元気になれば宮城も元気に

活動場所の制限、住民のイベント参加率減少など、NEOが直面した課題は決して小さくありませんでしたが、小池さんの表情や声から暗さは感じられません。

「とにかく自分たちに来ることをやって、面瀬を元気にする、それしか考えていません。それがいざ宮城の復興にもつながると思います」

差しあたっては仮設住宅の住民に気軽に参加してもらえよう働きかけていくことを心がけています。

今年の一〇月には、念願の事務所が完成しました。十畳ほどのプレハブですが、NEOにとっては三年越しの望みの事務所。この事務所の建設には地域の商店や企業からの寄付協力が欠かせませんでした。

このようにNEOが地域から支えられているのは、これまで長い間面瀬地区のために活動してきた実績があるからこそです。地域のために活動し、また地域からも支えられる、NPOのあるべき姿が気仙沼市面瀬地区にありました。



▲一列に並んで紙飛行機の飛行距離を競いました

NPO法人なんでもエンジョイ面瀬クラブ

〒988-0154 気仙沼市松崎猫淵19-14

●TEL/FAX : 0226-25-9272



▲10月26日の特別プログラム「女性たちが語る3.11～これまでと今と」

開催初日、仙台国際センターには全国から二千人を超える人が集まり、被災者へ捧げる黙祷をもって開会式がスタートしました。

初日の特別プログラムは、自ら被災しながらも支援に関わってきた女性たち六人が語る「女性たちが語る3.11～これまでと今と」。それぞれ分野は違っても普段の仕事の専門性が支援に役立っていることが印象的でした。実行委員会副委員長としてコーディネーターを務めたNPO

二〇一二年十月二十六日・二十七日の二日間、仙台国際センターで「日本女性会議2012仙台」が開催されました。日本女性会議は、一九八四年から女性の社会的地位の向上をテーマに、毎年二千人規模で開催されている会議です。仙台大会は、東日本大震災からの復興に全力で取り組む東北の姿とその過程で力をつけていく女性の姿を発信することを目的に、「きめる、うごく、東北から」をテーマに開催されました。

まっていたましたが、東日本大震災の影響で準備期間は通常の半分、約一年間しかありませんでした。

事務局を担った公益財団法人せんだい男女共同参画財団では、実行委員長を務めた東北大学の水野紀子さんを始め、多くの関係者に声を掛け、実行委員会と担当分科会別の運営委員会を組織、被災地である仙台から何を発信すべきか、テーマや内容について検討を重ねました。

●●● きめる、うごく、東北から ●●●

女性たちよ、 声上げる勇気を！

●日本女性会議2012仙台実行委員会

法人イコールネット仙台代表理事の宗片恵美子さんは、「震災で女性が抱えた困難は、もともとあった問題。震災でそれが大きくなっただけ、二日目にその解決に向けて話し合いたい」と一日目を締めくくりました。

二日目の午前は六つの分科会が開催されました。大ホールで開催された第一分科会「復興・防災に女性の声を」では、宗片さんをはじめとするパネリストが、これまで主に男性が担ってきた復興・防災のプロセスに女性が参画していくためには、様々な立場の女性たちの声を拾い上げることができる女性リーダーの必要であると語り合いました。

午後にはノルウェー王国の女性国會議員のアネット・トレッテバルグステューエンさんの基調講演、東北大学大学院教授辻村みよ子さんのコーディネートによるシンポジウムが開催されました。

●●● 社会を変える力も責任もある ●●●

参加者からは「被災地から多くのことを学びました」「今の困難は今の延長、だから変えていこうと思った」など、たくさんのメッセージが寄せられました。

事務局の荒井康子さんは、「男女参画を専門として活動されてこなかった方たちにも会議に関わってもらったことで、あらゆる分野に女性の問

題があるということを発信できました」と語ってくれました。

男女共同参画基本法成立から十年、数々の男女共同参画の取り組みが行われてきましたが、震災であらためて見えたことは、女性が声を上げにくい状況は変わっていないかったということです。

避難所での着替えや授乳、物資の受け入れや配布、食事作りといった問題があるにもかかわらず、復興計画策定においては依然として意思決定の場が男性で占められている現実。その現実を前に、「女性達は責任を引き受けてこなかったのではなか」とそんな反省の声もありました。

「災害が起きたとき、突然女性リーダーが現れることに期待するのではなく、日常の暮らしの中で女性がリーダーとして力をつけていくことが大切」と事務局の加藤志生子さん。

多くの人の参加と協力で開催したこの度の会議は、多くの共感とつながりという財産を残し、女性達に次に向かう力を与えてくれました。

日本女性会議2012実行委員会事務局 (公益財団法人せんだい男女共同参画財団内)

〒980-6128 仙台市青葉区中央1-3-1 AER29階
●TEL: 022-212-1627 ●FAX: 022-212-1628
●E-mail: joseikaigi@sendai-l.jp
●URL: <http://joseikaigi2012sendai.jp/>

みやぎNPOプラザNPOフォーラム2012

～知ろう、学ぼう、始めよう～

みやぎ
NPOプラザ

このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。

十一月十八日にみやぎNPOプラザの秋の全館イベント「みやぎNPOプラザNPOフォーラム2012」が、知ろう、学ぼう、始めよう」が開催され、約二百五十名の方に来場いただきました。

NPOが学びを深める 「NPOの学びの場」

交流サロンでは午前と午後、それぞれNPOのみなさんに有益な企画が行われました。午前中は日本財団CANPANマネージャーの山田泰久さんを講師に、今話題の「Face book」を広報に生かすための講座「Face bookで広報活動大作戦!!」を行いました。

今回受講された方の多くが「Face bookは知っているが、どのように活用したらいいかわからない」とお悩みの方でした。そこでFace bookの始め方から便利な使い方まで、実際の画面を見ながら、様々な機能の使い分けについての説明がありました。

Face bookだけではなく、他のツールを使った広報についても述べられ、その中でFace bookをどう利用すればよいかが説明されたため、参加された方からは「とてもわかりやすい講座で、今回学んだことを生かした広報をしたい」との声が多く上がりました。講座の中で「イベントや緊急時に始めるのではなく、情報発信を日頃から行っていることが団体

の信頼性につながるもので、ぜひまずはとりあえず始めてみてください」と話していました。

午後からは県内で長年活躍している方々が団体運営について語る「あのNPOリーダーに聞く! NPO組織運営のコツ」が行われました。

パネリストとして齋藤純子さん(NPO法人せんだい杜の子ども劇場代表理事)、白木福次郎さん(NPO法人ほつぷの森理事長)、土佐昭一郎さん(NPO法人ミヤギユースセンター理事長)を招き、みやぎNPOプラザ館長の久保朝江さんをコーディネーターとして話が展開された二時間。それぞれの団体の発足からの苦難や挫折、それを乗り越えた逸話や世代交代のタイミングについての考えなど、大変中身の濃い内容となりました。それぞれ異なる分野の運営にまつわる話だったこ



▲右から土佐さん、齋藤さん、白木さん、久保さん

ともあり、参加された方からは「大変参考となりました」との意見を多数頂きました。また、土佐さんからは「NPOには企業にはない良さがある。やりたい活動があれば、あまり深く考えず仲間を声をかけて始めてみる」といい、市民活動をされていない方への言葉もありました。

NPOを知ってもらおう 「みやぎのNPOひろば」

そのほかにも一日を通して、会議室では「みやぎのNPOひろば」という企画が行われました。これまでみやぎNPOプラザの貸務室やショップなどで活動していたNPO団体がそれぞれの活動体験紹介や講座を行うものです。

どの団体も自分たちの活動をわかりやすく紹介する構成で、全ての会議室に人があふれていました。特にみやぎNPOプラザでレストランも運営している「NPO法人シャロームの会」では、VTRを交えた活動報告「ありのままのあなたが素晴らしい」が人気でした。

シャロームの会では、精神障がい者の方々の就労支援を行っており、みやぎNPOプラザのレストランもその場となっております。実際にレストランに足を運んでお茶を飲むなど、終始穏やかで楽しい雰囲気でした。参加者から「自分を認める努力をしよう」という感想もあり、団体の伝えたいことがしっかりと伝わっている様



▲フォーラムの締めとなった大交流会の様子

子でした。この他、各催しの詳しい様子については「みやぎNPOプラザブログ」をむすび日記」でも公開します。ぜひご覧ください。

最後にイベントの締めくくりとして「大交流会」が行われました。イベントに会場された方だけではなく、パネリストやみやぎのNPOひろばの開催団体の方も参加されており、各々が楽しく情報交換をしており、各々が楽しんでいました。

イベントを通じて皆様から様々な意見が寄せられました。今後もNPOの皆様をサポートしていくだけではなく、NPOを市民の皆様に知っていただくよう努めたいと気持ちを新たにす一日となりました。

みやぎNPOプラザブログ～をむすび日記～

●<http://npoplaza.sakura.ne.jp/blog/>

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

(指定管理者: (特活) 杜の伝言板ゆるる)

TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533

E-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp

積水ハウスマッチングプログラム 2013年度助成

- 基金の種類：「積水ハウスこども基金」
次世代を担うこどもたちを育成することを目的とし、こどもたちの健全な育成に関わる活動を支援「積水ハウス環境基金」
サステナブル社会の構築に寄与することを目的とし、環境や生態系の保全に配慮した活動を支援
- 助成の種類：プログラム助成
申請プログラムに対して助成
※プログラム助成の審査で選外となった団体を対象に「基盤助成」(団体インフラ整備、活動の質の向上等への助成・上限 20 万円) を審査します。
- 助成金額：過去 3 年間の平均年間支出合計の30%以内
または200万円のいずれか低い金額が上限
- 募集締切：平成24年12月21日(金)17:00必着
- 連絡先：積水ハウスマッチングプログラムの会 事務局
〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中1-1-88
梅田スカイビル タワーイースト
TEL：06-6440-3440 FAX：06-6440-3369
E-mail：sh-mat@sekisuihouse.co.jp

「障がい者給料増額支援助成金」 「障がい者福祉助成金」

- 【障がい者給料増額支援助成金】
- 助成対象：障がい者の給料増額に効果的な事業、設備に限る
助成対象となる事業所・施設
・就労継続支援A型事業所
・就労継続支援B型事業所
・福祉工場 ・通所授産施設
・地域活動支援センター
・無認可小規模作業所 ・生活介護事業所
- 応募要件：平均給料一人当たり13,079円以上支給(昨年度実績)
助成金は平成25年度中に支出すること
- 助成金額：上限100万円(最大50件)
- 【障がい者福祉助成金】
- 助成対象：会議・講演会・研修・出版・啓発・調査・研究・スポーツ・文化事業・活動に対する助成で平成26年3月15日までに完了する事業に限る
- 助成金額：上限100万円

【共通事項】

- 募集締切：平成24年12月31日(月)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人ヤマト福祉財団助成金事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-18
ヤマト銀座ビル7階
TEL：03-3248-0691
URL：http://www.yamato-fukushi.jp

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成(第10次)

- 助成対象：東日本大震災で被災された方を支援するボランティア活動等全般

- ・緊急救援活動プログラム
- ・生活支援活動プログラム
- ・復興支援・コミュニティ活動プログラム
- ※被災地における活動だけでなく、被災者の避難先における活動も対象とします
- 対象団体：被災地をはじめ、全国で東日本大震災の被災者への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等
※任意のボランティアグループや団体等の場合、5名以上で構成されている団体であること
- 助成金額：活動期間によって異なります
短期(おおむね1ヶ月未満)：50万円以内
中長期(1ヶ月以上)：300万円以内
- 助成期間：平成24年9月25日から12月25日までにを行った短期の活動、もしくは平成24年12月26日から平成27年3月31日までに進行される活動
- 募集締切：平成25年1月25日(金) 必着
- 連絡先：社会福祉法人中央共同募金会企画広報部(ボラサポ担当)
TEL：03-3581-3846 FAX：03-3581-5755
E-mail：support@c.akaihane.or.jp

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート基金」地域ボランティア活動支援事業

- 助成対象：被災地における地元グループによる助け合い活動
※これから行う活動に要する費用であること
- 対象団体：宮城県において、地元住民のグループ等による助け合い活動を行う住民団体やボランティアグループ、NPO等であって、宮城県内に所在し、県民5名以上で構成される非営利団体
※地域の他団体の推薦が得られており、活動を実施・報告できる体制があること
- 助成金額：1 団体につき10万円限度
- 募集締切：12月27日(木)必着
- 連絡先：社会福祉法人宮城県共同募金会
〒984-0051 仙台市若林区新寺1丁目4-28
TEL：022-292-5001 FAX：022-292-5002

東日本大震災現地NPO応援基金(一般助成・第2期)

- 助成対象：被災者の生活再建を支援する現地NPOの組織基盤強化の取り組み(NPOの人的基盤、財政的基盤、情報基盤など運営基盤の整備)
- 対象団体：1)岩手県、宮城県、福島県において直接被災者の生活再建を支援する「現地NPO」
2)上記(1)の活動を行う団体の「現地ネットワーク組織」または「現地中間支援組織」
- 助成金額：1 件当たり300万円以内
(助成総額は概ね1,500万円)
- 助成期間：平成25年4月初日から1年間以内
- 募集締切：平成25年1月31日(木) 必着
- 連絡先：特定非営利活動法人市民社会創造ファンド
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル267-B
TEL：03-3510-1221
E-mail：ksakamoto@civillfund.org

ドン博士のコミュニケーション・メソッド”を紹介します。

- 日 時：12月18日(火) 10:00～11:45
※月1回開催しています
- 場 所：エル・パーク仙台 141ビル5F
- 講 師：石田えみ子氏(PETフォーラム代表・親業訓練シニアインストラクター)
- 参 加 費：500円
- 主 催：PETフォーラム
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-281-0858
URL：<http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/index.html>

12/20 Kizuna親子サークルのびのび☆クリスマス会

女川町子育て支援センターで楽しいクリスマス会を開催します！
リスマイルプロジェクトのクリスマス公演やゲーム大会など楽しい企画が盛り沢山！素敵なプレゼントもご用意しています！

- 日 時：12月20日(木) 10:00～12:00(9:45より受付)
- 場 所：女川町子育て支援センター(地域福祉センター1階)
- 対 象：0歳～未就園児のお子様とご家族
- 定 員：30組(要事前予約)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：女川町子育て支援センター(0225-24-9341)へお申し込みください。(12月10日締め切り)
- 問 合 先：「絆」プロジェクト託児チーム
E-mail：kizuna@fine-smile.jp

12/22 エスプ・ダンス・ピース (ESP DANCE PES) 2012

小学生から一般まで、20組が出場するオールジャンルのダンスイベントです。高校生の実行委員会が運営します。

- 日 時：12月22日(土) 14:00～16:00(開場13:30)
- 場 所：ふれあいエスプ塩竈(JR 東北本線塩竈駅より徒歩1分)
- 入 場 料：無料
- 主 催：エスプ・ダンス・ピース2012実行委員会
- 共 催：塩竈市教育委員会
- 連 絡 先：ふれあいエスプ塩竈
〒985-0036 塩竈市東玉川町9-1
TEL：022-367-2010

12/23 ArtGallery そあとの庭 アートワーク 12/28 ショップ「まなびの庭」

自然豊かな広い庭での特別授業、楽しく算数を学ぶ・遊ぶ・

作るをテーマとした活動を目的として、小学校高学年までに習う内容をわかりやすく、楽しくフォローしていきます。

- 内 容：★クリスマス・ワークショップ
日程：12月23日(日)、24日(月)
「そあと」ならではのアートワークショップ！
※詳細はHPにて告知します
★冬休み宿題応援団
冬休みの学校の宿題を年内に終わらせて、楽しいお正月を迎えましょう！
期間：12月25日(火)～12月28日(金)
小学3年生 13:00～14:00
小学4年生 14:15～15:15
小学5年生 15:30～16:30
小学6年生 16:45～17:45
- 場 所：ArtGallery「そあとの庭」
- 講 師：内海徹氏(キャリア教育コーディネーター)
- 対 象：宮城県内在住の小学3～6年生
- 参 加 費：入会金0円、各コース1回1,000円
- 申込方法：FAX、メールにて申込(定員になり次第締切)
- 主 催：NPO法人東北の造形作家を支援する会
- 連 絡 先：ArtGallery「そあとの庭」
〒989-3121 仙台市青葉区郷六笹の上5-4
TEL：022-398-8844 FAX：022-398-8845
E-mail：head@soat.jp
URL：<http://www.soat.jp/>

1/8 DV&デートDV ～ひとりで悩まないで～

DVもデートDVもとても身近な問題です。正しい情報と知識を持つことで、自分を守り、今被害にあっている人を助けることもできます。DV・デートDVとは何か？その暴力の構造を明らかにしながら、何ができるのかを一緒に考えていきましょう。

- 日 時：第2回2013年1月8日(火) 10:00～12:00
第3回2013年2月12日(火) 10:00～12:00
- 場 所：仙台市福祉プラザ
- 内 容：DV&デートDV ～その実態を知る
- 対 象：関心のある方ならどなたでも
- 定 員：24名
- 参 加 費：500円(当日受付でお支払いください。事情のある方はお申し出ください)
- 持 ち 物：筆記用具
- 託 児：無し
- 主 催：CAPみやぎ
- 連 絡 先：TEL：070-5017-4389 FAX：022-258-7540 (田中)
E-mail：capmiyagi@yahoo.co.jp
datedv_miyagi@yahoo.co.jp
URL：<http://www.cap-miyagi.net>

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。掲載は無料です！
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。○※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6

TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327

e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

- 対 象：20歳以上の独身の方
- 参 加 費：無料(事前申し込み要)
- 連 絡 先：NPO法人ワークスコープ
TEL：080-3193-2266
E-mail：tomekonkatsu@yahoo.co.jp

12/15 家族のリスクマネジメント勉強会in仙台 「放射線・放射能と食品の安全性についての勉強会」

この勉強会は、放射線・放射能について初歩から学び直し、それ以外の健康リスクについても学ぶことで、総合的に健康リスクを軽減しようと始まった勉強会です。半谷さんと全国のボランティアスタッフたちが、面白くて笑える、子どもと一緒に参加できる異色の勉強会を、全国各地で開催し続けています。

- 日 時：12月15日(土)
第1部 勉強会 9:10～12:00
第2部 茶話会 12:30～15:00
- 場 所：仙台市民活動サポートセンター(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師：半谷輝己(はながいてるみ)氏
(福島県伊達市健康相談窓口担当)
- 参 加 費：無料(予定) 茶話会については飲食代別途必要
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催：家族のリスクマネジメント勉強会
- 連 絡 先：TEL：070-5407-5257(タチバナ11:00～21:00)
080-4074-2254(カワセ、18:00以降)
E-mail：dualmoon_hanabusa@yahoo.co.jp
URL：http://k-rm.net

12/15 IVYみやぎ立ち上げイベント 特別講座「企業とNGOの進化するパートナーシップ」

認定NPO法人IVYは、2012年9月から宮城支部「IVYみやぎ」を立ち上げました。その立ち上げイベントとして、特別講座を開催します。ゲストには、これまでの日本企業には見られなかった積極的なCSR事業を展開するユニクロから、同社の社会貢献活動を推進してきたシェルバ英子氏をお迎えします。

- 日 時：12月15日(土) 18:30-20:30
- 場 所：エル・パーク仙台 セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4丁目11番1号141ビル
(仙台三越定禅寺通り館)5階)
- ゲ ス ト：シェルバ英子氏(株式会社ユニクロCSR部ソーシャルイノベーションチームリーダー)
- 参 加 費：一般1,000円、学生500円
- 申込方法：IVYみやぎHPをご覧ください、専用申込フォームに必要事項を入力し送信してください
http://ivymiyagi.jimdo.com/ivy-social-school/volume-1/
- 主 催：IVYみやぎ(認定NPO法人IVY)
- 連 絡 先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市民活動サポートセンター7F
市民活動共同事務室内(※常駐職員はいないため、電話での連絡は下記のIVY本部事務局まで)
TEL：023-634-9830 (IVY本部)
E-mail：ivymiyagi@gmail.com
URL：http://ivymiyagi.jimdo.com/

12/15 3.11定点観測アーカイブ・プロジェクト公開サロン

震災の記録写真を撮影した市民の方をゲストに迎え、震災後間

もなく撮影された写真と、その後、撮影された同じ撮影地の定点観測写真を、撮影者ご本人に紹介していただくプロジェクトです。

- 日 時：12月15日(土)、2013年1月19日(土)、
2月16日(土) 全日程14:00～16:00
- 場 所：せんだいメディアテーク7階
- 主 催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台/せんだいメディアテーク
- 連 絡 先：NPO法人20世紀アーカイブ仙台
〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2
TEL：022-387-0656 FAX：022-387-0651
E-mail：np0@20thcas.or.jp
URL：http://www.20thcas.html/

12/16 NPO法人KHJ宮城県「タオ」講演会 ～引きこもり・不登校の子を持つ親の勉強会～

- 日 時：12月16日(日) 13:30～16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 講 師：池田佳世氏(臨床心理士、NPO法人全国ひきこもりKHJ親の会代表理事)
- 対 象：不登校、引きこもり、発達障がいなどのお子さんがあるご家庭の方
- 参 加 費：1人1,000円、1家族1,500円
- 申込方法：下記連絡先まで申込
※席席に限りがあるため、なるべく事前申し込みいただくと助かります
- 主 催：NPO法人KHJ宮城県「タオ」
- 連 絡 先：〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18
TEL：080-3193-6715

12/16 女性のためのこころのケア講座 パートナーシップ ～快適なパートナーシップに踏み出そう！

DVなど、傷ついた経験をもつ女性のための講座です。自分らしく生きていくために、回復に向けてできることは「わたしがわたしを大切にすること」。

講座の終わりには、持ち帰りのできるしおりやカードを作ります。

- 日 時：12月16日(日) 13:30～15:30
- 場 所：エル・ソーラ仙台
- 対 象：仙台市内在住・通勤・通学の女性
※高校生以上の当事者女性に限る
- 定 員：20名
- 参 加 費：500円(アート材料費、お茶代)
- 託 児：子ども1人300円
※6ヶ月以上小学1年生まで
※しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについても応相談
※先着順、定員になり次第締切(託児締切：12/6)
- 申込方法：下記連絡先まで問合せ
- 主 催：仙台市、(公財)せんだい男女共同参画財団
- 企画協力：NPO法人ハーティ仙台
- 連 絡 先：エル・ソーラ仙台相談支援係
TEL：022-268-8302(9:00～17:00 日祝・休館日を除く)
URL：http://www.sendai-l.jp

12/18 親業セミナー「心に届く言葉とは…」 ～あなたの一言で相手が変わる～

子どものことをこんなに思っているのに、何故言うことを聞かないの？何度言ったらわかるの？など、日頃疑問や問題を感じていませんか？このセミナーでは、親と子のコミュニケーションをより良くし、子どもの考える力を伸ばす「ゴ

経済の進む道、企業・自治体・市民がどう動いていくべきかについて考えていきます。

- 日 時：12月12日(水) 14:00～16:30
※16:30～17:00 地球環境基金説明会
17:00～ 交流会 ※参加費未定
- 場 所：青年文化センター 2F 交流ホール
(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
- 内 容：★記念講演『曲がり角にたつ環境と経済、企業・自治体・市民の役割 -リオ+20から読み解く-』
講師：古沢広祐氏(國學院大学経済学部教授)
★パネルディスカッション
パネリスト：古沢広祐氏(國學院大学経済学部教授)
岸上みち枝氏(一般社団法人イクレイ日本事務局長)
鈴木亮氏(国際青年環境NGO A SEED JAPAN理事)
未定(一般社団法人ワールドソフト・ネットワーク・ジャパン)
コーディネーター：石垣政裕氏
(東北大学大学院経済学研究科専任講師 応用情報学)
★交流会(予定) ※参加費未定
- 定 員：100名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：「氏名」「所属」「電話番号」「質問や聞きたいこと」「交流会の参加希望か否か」を明記の上、下記連絡先まで申込
- 申込締切：定員になり次第
- 主 催：独立行政法人環境再生保全機構
- 共催・連絡先：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5F
TEL：022-276-5118 FAX：022-219-5713
E-mail：melon@miyagi.jp.org

12/14 福島ママのためのママともサロン0123

震災後、さまざまな不安を抱えて福島県から仙台に避難してきたママたちで、おしゃべりしませんか？

- 日 時：12月14日(金)、2013年2月6日(水)、3月8日(金) 各10:30～12:30
- 場 所：エル・パーク仙台 和室(仙台三越定禅寺通り館 5F)
- 対 象：福島県から避難してきた乳幼児をもつ母
- 定 員：10名(子どもと一緒に可)
- 託 児：10名、無料
※生後6ヶ月～未就学児、エル・パーク仙台子供部屋にてお預かり
※持ち物：おむつ、着替え、ビニール袋(2枚)、おしりふき、子どもの飲み物
- 申込方法：下記連絡先まで電話、または直接窓口にて申込
※開催月の前月7日から申込受付

- 主 催：NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク、のびすく仙台
- 連 絡 先：仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-10-24
仙台市ガス局ショールーム3F
TEL：022-726-6181 FAX：022-214-5071
URL：http://www.nobisuku-sendai.jp/

12/14 映画上映会Canta! Timor (うたえ!ティモール)

舞台は南海に浮かぶ神々の島、東ティモール。ひとつの歌から始まった運命の旅が、音楽あふれるドキュメンタリー映画となった。3・11を経験した私たちにとって「これからをどう生きるか」のヒントがこの映画にはまっている。

- 日 時：12月14日(金)
午前の部10:30～12:20
午後の部14:00～15:50
夜の部18:30～20:20
- 場 所：せんだいメディアテーク 7Fスタジオシアター
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 参 加 費：500円(事前申し込み、当日お支払いください)
- 申込方法：下記申込先まで要事前申し込み
- 主 催：宮城県ユニセフ協会
- 連 絡 先：〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
みやぎ生協ウィズ内
TEL：022-218-5358、070-6617-6284
FAX：022-218-5945
E-mail：sn.municef_miyagi@todock.jp
URL：http://www.unicef-miyagi.gr.jp

12/15 コミュニケーション力UP! 話し方のコツ講座

元NHKキャスター・現在フリーアナウンサーの青山奈津子さんによる自分磨きセミナーを開催します。コミュニケーションに自信がない方、更に自分を磨いて輝かせたい方をお待ちしています。

- 日 時：12月15日(土)13:00～15:00
- 場 所：登米市迫公民館 視聴覚室(迫町佐沼字中江)
- 内 容：「人とうまく話すにはどうしたらいいんだろう…」
「第一印象を良くするには？」さまざまな悩みや疑問をお持ちの方にお勧めのセミナーです。
『第一印象UPのコツ』や『人の気を引く話し方』について実践や、アナウンサーの仕事にまつわるエピソードをまじえてお話しいたします。

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体			宮城県等所轄分10月11日～11月10日 仙台市所轄分10月11日～11月10日
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等 災害医療ACT研究所	石巻市	災害時における被災地の医療支援のあり方を研究し、災害医療の発展に寄与する事業を行う	11/2
High-Five	塩竈市	震災被災地を支援する活動及びスポーツを通して、被災地の子ども達に夢と希望を持たせる啓蒙活動を行う	11/6
子どもグリーフサポートステーション	仙台市青葉区 神宮寺	親や大切な人と死別などの喪失体験をした子どもとその家族に対するサポート事業を行う	11/9
東北サイコウBANK	宮城野区	支援金、寄付金の運営管理事業、販売支援並びにコンサルティング事業、農・畜・健康の研究開発、普及推進、実践活動事業等	10/1
ドラムカフェ	青葉区	参加型ドラミングによるスクール公演事業、参加型ドラミングによる地域、施設公演事業、ドラミングに関するイベントの企画開催事業等	10/25
宮城県のNPO法人数			※2012年11月10日現在 684団体 宮城県等所轄：305団体 仙台市所轄：379団体

NPO法人に認証された団体			宮城県等所轄分10月11日～11月10日 仙台市所轄分10月11日～11月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等 応援のしっぽ	石巻市	各地域等の民間非営利活動及び企業・地方公共団体等における民間非営利組織への支援活動等に関する情報発信に関する事業等	10/26
NPOしらうめ	石巻市	東日本大震災による被災者に対して、心の安寧と余暇を提供する為に移動図書館等の事業を行う	10/26
石巻茗荷村	石巻市	東日本大震災により離職した者及び社会福祉サービス必要とする者に対して雇用創出及び社会福祉に関する事業を行う	11/9
仙台市 バルサモ学習指導奉仕協会	青葉区	語学教育と学習に関する国際大会の開催、語学教育と学習に関する研究助成金の授与、語学教育と学習に関する出版物の発行	10/11
宮城メモリアルパーク整備産官学連携協議会	泉区	メモリアルパーク構想実現を支援する地域活動、メモリアルパークに関連した地域振興事業の発展及びその事業化支援	10/16
希望の光	太白区	震災被災地の農林水産業の事業再開支援事業、震災被災地の農作物、水産物などの地域産品に関する広報支援事業等	10/26



NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時：12月13日(木)、1月17日(木) 13:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順) ※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)



NPOのための経営相談

事業計画を見直したい、何から手をつけていいかわからない…そんな時は外からの視点を取り入れてみませんか？

- 日 時：12月20日(木) 13:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順) ※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)



みんなde手しごとプロジェクト事業 クリスマスリースを作る会

小サイズのクリスマスリースを作ります。材料いろいろ、お茶もお菓子もごぞいます。

- 日 時：12月10日(月)、17日(月)、21日(金)
13:15～15:15
12月13日(木) 10:15～12:15
- 場 所：WATALIS工房内(亘理町字中町22番地)
- 講師：橋元あゆみ氏(手しごと愛好家)
斎藤淑子氏(製作指導)
- 定 員：20名(申込先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記電話番号までお問い合わせください。直接お越しいただいても結構です
- 主 催：宮城県亘理町手しごとプロジェクトWATALIS
- 連絡先：TEL：0223-35-7341



スペシャルオリンピッククリスマスチャリティコンサート 『ミュージックランドへようこそ!』

仙台フィルのメンバーを中心に構成する「ルーセス」の親子で楽しめるコンサートです。

- 日 時：12月10日(月) 18:30～(開場18:00)
- 場 所：太白区文化センター 楽楽楽(ららら)ホール
- 演奏曲：アヴェ・マリア/ニュー・シネマ・パラダイス/「となりのトトロ」より五月の村、まいご、ネコバス、他/北の国から/卒業写真 など(一部予定)
- 参加費：・親子券：3,000円(大人1人・子ども1人※中学生以下)
・一般券：3,000円
・学生券：1,500円(高校・大学・専門学生)
・小人券500円(中学生以下)
- プレイガイド：三越仙台店、藤崎、ヤマハミュージックショップ

東北仙台店、カワイミュージックショップ仙台
※各プレイガイドでの前売りは親子券、一般券のみ

- 主 催：スペシャルオリンピッククリスマスチャリティコンサート 実行委員会
- 連絡先：TEL：022-711-6835



ふくしまほっこりカフェ

東日本大震災・原発事故から1年半。家族のことや仕事のことなど…避難先やふるさとで抱えている、困っていることや知りたいことなどを気軽に話しましょう。子連れ・飛び入り参加も歓迎です。

- 日 時：12月11日、18日、25日
(毎週火曜日 10:00～12:00)
- 場 所：ハート&アート空間 ビーアイ(下記連絡先参照)
- 対象：東日本大震災・東京電力原発事故の影響で福島県や宮城県南から仙台市付近に移住してこられた方
- 参加費：無料
- 申込方法：TEL、FAX、メールにて申込
※お子さんの人数や年齢もお知らせください
- 申込締切：開催日の前日まで
- 主 催：ハート&アート空間 ビーアイ
ふくしまほっこりカフェ実行委員会
- 連絡先：ハート&アート空間 ビーアイ
〒980-0822 仙台市青葉区立町20-11
ミカミハウス2F
TEL：022-262-2969 FAX：022-262-2975
E-mail：zoukabako@gold.ocn.ne.jp
URL：http://1987bei.blog.shinobi.jp/



登米パソコン教室

パソコン・ネット・みやぎでは以下の日程でパソコン教室を開催します。今さら人には聞けない質問にもお答えする相談室も設けますので、ぜひご参加ください！

- 日 時：☆パソコン教室
ワードで年賀状を作ってみませんか
12月11日(火) 10:00～12:00
12月14日(金) 19:00～21:00
エクセルで基本操作をやってみませんか
12月18日(火) 10:00～12:00
12月21日(金) 19:00～21:00
☆無料相談室
いまさら家族に聞けないパソコン操作方法を、やさしく・何度でも・繰り返しお答えします
12月23日(日) 10:00～12:00
- 会 場：津山町公民館(無料相談室)
- 申込方法：下記連絡先まで電話にてお申込ください
※パソコン教室は受講日前日、無料相談室は5日前までに予約
- 連絡先：NPO法人パソコン・ネット・みやぎ
TEL：0220-21-5262



曲がり角にたつ環境と経済、企業・自治体・市民の役割 ーリオ+20から読み解くー

1992年の地球サミットが開催されてから20年、今年6月にリオデジャネイロで国連持続可能な開発会議「リオ+20」が開催されました。「リオ+20」を読み解きながら、今後の環境と

●主 催：NPO法人アスイク
●連 絡 先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-3-21
コーポ小松101
TEL/FAX：022-781-5576
E-mail：info@asuiku.org

お 知 ら せ

2013年度 コラボレーションセミナー募集

日本女性学習財団では、財団が開発したプログラムを基に協働でセミナーを実施する機関、団体・グループの企画を募集します。
※要件についての詳細はHPの要項をご確認ください

- 募集要件：(1)企画テーマ
以下のプログラムを基にした講座・セミナー・ワークショップ等の企画であること
A)地域活動・市民活動支援
企画力・提案力・組織力など活動の実践力をステップアップするセミナー
B)子育て支援
関係づくりの視点を入れた子育て支援セミナー(男性の地域参画を含む)
C)生涯にわたるキャリア形成支援
女性のライフステージに応じたキャリア形成支援セミナー
(2)実施時期 2013年6月～2014年2月
- 対 象：所定の要件を満たす以下の団体(個人の申込は不可)
(1)女性関連施設・生涯学習センター等の機関(指定管理者も含む)
(2)団体・グループ(女性団体・企業/労働組合・大学キャリアセンター・NPO法人を含む)
- 募集件数：4件程度
- 申込方法：所定の申込書に記入の上、2012年度事業計画・予算書、団体の規約、役員名簿及び会員名簿を添付して郵送にて申込 ※郵送以外は受付けません
- 申込締切：1月28日(月) 消印有効
- 主 催：公益財団法人日本女性学習財団
- 連 絡 先：学習事業課
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館5階
TEL：03-3434-7575 FAX：03-3434-8082
E-mail：jawe@nifty.com
URL：http://www.jawe2011.jp

五井美沙作品集～余儀なき別れの後で…

『被災地』と呼ばれる町に住む人間は、東日本大震災でそれぞれの余儀なき別れを重ねました。この作品集は、津波で亡くなったボランティア、五井美沙さんが残した、アニマルクラ

ブ石巻の犬と猫たちの画集です。

- 価 格：送料込み1,080円(56ページ)
- 購入方法：トクヒ) アニマルクラブイシノマキの郵便口座
02210-0-27343に、「画集注文」と明記して振り込み
- 編集・発行：NPO法人アニマルクラブ石巻
- 問合せ先：NPO法人アニマルクラブ石巻
〒986-2199 石巻市渡波郵便局私書箱1号
TEL&FAX：0225-23-2680
E-mail：animalclub30@gmail.com
URL：http://a-c.sub.jp/

事 業 案 内

来年に向けてカレンダーを作成しよう

パソコンに興味のある人、高齢者、障害者のための「教えあい学習」を行っています。12月は来年に向けてカレンダー作成を中心に行います。ご自身のパソコンを持参できますので、ぜひ一緒にパソコンを学びましょう！

- 曜日・会場：【月曜日】志波姫 【火曜日】一迫・鶯沢
【水曜日】築館・高清水 【木曜日】若柳・金成・築館
【金曜日】瀬峰・栗駒 【土曜日】金成
- 時 間：13:30～15:30
- 内 容：カレンダー作成、はがき作成、デジカメ講座
- 参 加 費：入会金1,000円、会費2,000円/月(月4回受講)
- 連 絡 先：IT同好会・フレッシュパール会
〒987-2216 栗原市築館伊豆2-6-1
TEL：0228-22-6208 / 080-1830-2822

毎週 火曜 いろんな場面で役に立つ傾聴講座 ～聞き上手になろう～

震災の心のケアのために、「傾聴」の必要性が高まっています。心のケアだけでなく、職場や家庭の人間関係を深める上でも、傾聴はとても有効です。相手の話を引き出し、互いに共感して理解しあう、そんな傾聴を学んでみませんか？

- 日 時：毎週火曜日 19:00～20:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室
- 参 加 費：1回1,000円、テキスト代1,300円(初回のみ)
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催：はあとランド
- 連 絡 先：黒川郡大和町もみじが丘2-38-9
TEL：080-5225-7532
E-mail：nijipapa@ezweb.ne.jp(携帯からのみ)

ありがとうございます!! 今月の新入会員・継続会員 (2012.11.16現在)敬称略

●正会員 47名

★仙台市 ●石澤圭太 ●甲山知苗

●賛助会員 96名

★仙台市 ●安田邦夫 ●NPO法人童里夢
●NPO法人NALC宮城「けやきの会」
●(社)宮城県ろうあ協会会長小泉正壽
★登米市 ●NPO法人どんぐりの家

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

ボランティア情報

福祉有償運送リフト付自動車運行事業 運転ボランティア募集

一般の交通手段を利用することが困難な、車いす使用の身体障害者の外出・社会参加を促進するための福祉有償運送リフト付自動車運行事業の運転ボランティアを募集しています。

- 活動日時：応相談
- 活動場所：運行圏域は仙台市内
- 活動内容：一般の交通手段を利用することが困難な方を対象に、車いすで乗車できるリフト付ワゴン車による送迎を行います
- 応募条件：・普通自動車運転免許を有する65歳までの方
・過去3年以内に運転免許停止処分のない方
・運転免許一種の方は「代替講習」の受講があります
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 申込締切：12月14日(金)
- 主催：財団法人仙台市障害者福祉協会
- 連絡先：〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2
仙台市福祉プラザ8階
TEL：022-266-0294 FAX：022-266-0292
E-mail：y-yasuda@shinsyou-sendai.or.jp
URL：http://www.shinsyou-sendai.or.jp

配食ボランティア募集！

ひなたぼっこでは、家庭的な料理をお弁当やお惣菜として、国見・千代田町地区や福祉施設等のご希望のあった方々にお届けしています。ご利用頂いている方々からも「美味しかったよ」と好評を頂いており、この配食を介した安否確認を、地域の関係機関と連携して取り組んでいます。そんな地域で支え合う活動に参加してみませんか？

- 活動内容：1)調理ボランティア
調理、お弁当の盛り付け
2)配達ボランティア
徒歩や自転車でご希望のあった方に配達(見守り活動)
- 活動日時：月～金 10:00～12:30
同 15:00～17:30
- 活動場所：国見・千代田のより処 ひなたぼっこ
青葉区国見地区・千代田町地域周辺を中心にお届けします
- 条件：人と話をするのが好きな方
調理の好きな方(調理ボランティア)
- 募集主体：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
- 連絡先：国見・千代田のより処 ひなたぼっこ
〒981-0936 仙台市青葉区千代田町1-13
TEL：022-343-1340 FAX：022-301-8821
URL：http://www.clc-japan.com

民間学童クラブ キッズベース ボランティア募集

- 活動日時：都合の良い日時
- 活動場所：アフタースクール：キッズベース
(仙台市青葉区北根黒松2-10クローバースピア ワッセ2F)
- 活動内容：(1)平日の子どもの見守り等(15:00～20:00)
(2)学校休日中(夏休みや春休み、振替休日、学級閉鎖日等)の子どもの見守り(9:00～18:00)
(3)イベント・セミナー開催時のスタッフとして参加
1)クリスマスコンサート
日時：12月22日(土) 12:00～16:00
場所：のびすく泉中央
2)ウインターツアー
日時：2013年2月9日(土) 8:00～18:00
場所：七ヶ宿スキー場
※スニーカー、ジーンズなどの動きやすい服装で参加してください
- 対象：学生、社会人、主婦の方、子どもと遊ぶのが好きな方
- 定員：10名程度
- 報酬：500円(交通費)
- 託児：お子様連れでの参加も可能です
- 募集主体：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連絡先：〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央1-1-17-906号
TEL：022-346-0130 FAX：022-346-0156
E-mail：talisman@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp/

有給スタッフ

子どもたちに学びと笑顔を生みだす「まなびサポーター」大募集！

生活保護や就学援助などを受けている子どもたち(小学6年生～高校生)がパソコン教材を使って自ら学ぶことをサポートをします。インターネット上でサポーター同士が情報交換できるので、安心して工夫しながら自分の裁量で活動できます。

- 時間：平日の夜のうち、週1～3回 2時間ほど
※ご都合に合わせて決められます
- 場所：公営住宅集会所、コミュニティセンター、生協の集会所、ご自宅等
※お近くの場所を借りて活動します
※場所は事務局と話し合ってから決めます
- 対象：こんな方をお待ちしています
・人の話を聞くのが好き
・パソコン(インターネットやEメール)を普段から使っている
・18歳～65歳程度(それ以上も応相談)
※パソコン教材を使って子どもが自分で学ぶので、勉強を教えられなくても大丈夫です
- 報酬：有償(おおよそ月10,000～25,000円程度)
- 申込方法：下記連絡先まで申込

入学金・授業料や仕送り費用など、教育に関するさまざまな使いみちに。

ろうきん教育ローン 固定金利5年 年2.50%～(保証料込)

- お使いみち: 入学金や授業料、仕送りなど、ご本人やご親族の方の教育費用
- ご融資金額: 最高1,000万円
- ご融資期間: [固定金利型] 最長10年、[変動金利型] 最長15年



- 2012年10月1日から2013年3月末までにお申込みを受付け、実行するご融資が対象となります。
- ご利用いただける方: ①お申込時の年齢が原則満20歳以上、勤続年数1年以上、前年の税込み年収が150万円以上の方。
②当金庫の審査基準を満たされる方。
- 担保・保証人: 担保は不要です。当金庫指定の保証機関をご利用いただけます。保証料はご融資金利に含まれています。

※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※店頭で説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

2012年11月1日現在

◆◆◆ ローン事前審査も、ローン相談予約もろうきんホームページから! ◆◆◆



お問合せ・お申込みは<東北ろうきん>宮城県内の最寄りの店舗へ

☎ 0120-1919-62

NPO法人会計

基準導入セミナー

NPO法人会計基準はNPOの活動を外部の人々に広く知ってもらうために定められたルールです。平成24年4月施行の改正NPO法により、NPOの会計報告の形式が従来の「収支計算書」から会計基準に則った「活動計算書」へと変更になっています。平成24年度の報告書から「活動計算書」で報告できるよう、会計基準を導入しましょう!

日時

1/11(金)

【大河原会場】

1/16(水)

【石巻会場】

両開催とも13:30～16:30

場所

【大河原会場】

大河原合同庁舎301会議室

【石巻会場】

石巻市役所401会議室

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■内 容: ・NPO法人会計基準の概要 ・NPO法人会計基準導入のポイント ・収支計算書と活動計算書の違いは? ・注記とは? | <ul style="list-style-type: none"> ■対 象: 県内のNPO法人・市民活動団体など ■講 師: 笹舘公男氏 税理士/ファイナンシャルプランナー 【大河原会場】
及川充氏 有限会社石田会計事務所取締役 【石巻会場】 ■参加費: 無料 ■定員: 両会場とも20名(先着順) |
|---|---|

主催: 宮城県 企画・実施・申込先: NPO法人杜の伝言板ゆるる(下記連絡先をご覧ください)